

令和8年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立 橘小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

**【安全・安心な教育の推進】**

○児童会を中心に、「生活がんばり週間」や「生活ふり返りカード」、「あいさつ運動」に年間を通して計画的に取り組んできた。

○「いじめ（いのち）について考える日」に児童集会や委員会活動による発表集会を実施しながら、校内での啓発活動に取り組んだ。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○全教科の学習において、ペア学習やグループ学習、話し合い活動に積極的に取り組み、自分の考えを持ち発表できる児童が増えた。

○「かけ足週間」「縄跳び週間」「健康週間」「給食週間」をそれぞれ実施することで、児童が健康な生活を送り、望ましい生活習慣を身に付けようとする意識を高めることができた。

○デジタル教科書やデジタルドリルを活用したり、学習者用端末を用いて調べ学習を行ったり、調べた結果をまとめたりする学習を各学年で取り組むことができた。

○玄関前に自主学習の成果を掲示し、より多くの児童の目に触れる環境を整えた。

**【学びを支える教育環境の充実】**

○学習者用端末による「心の天気」の入力の定着や端末の持ち帰りの本格的実施により、利用率が大きく向上した。しかし、デジタル教材の活用は学年によるちがいが見られた。

○スクールサポートスタッフの有効活用により、職員の負担を軽減し、児童と向き合う時間を確保することができた。

○地域の方と連携した学習活動を各学年で計画的に行い、その成果を学習参観などで発表することができた。

○昨年度から本格的に行っている保幼小中連携の一環として、地域の幼稚園や保育園・保育所の園児を本校に招待して、体験的な活動をすることができた。

○児童会を中心に「たちばなまつり」「かるた大会」を行い、たてわり班による異学年の児童どうしの交流を深め、仲間づくりを深めることができた

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。(R7:85%)

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(R7:81%)

○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。(R7:なし)

### **【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。(R7：79%)

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。  
(R7：89%)

○校内アンケートにおいて、「健康的な生活を心がけている」と肯定的に回答する児童を 90%以上にする。(R7：89%)

### **【学びを支える教育環境の充実】**

○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 65%以上にする。(R7：61%)

○「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。(R7 2 月:0%)

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### **【安全・安心な教育の推進】**

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思えますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。(R7:85%)

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思えますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(R7:81%)

○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができているか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。(R7:なし)

### **【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。(R7：79%)

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。  
(R7：89%)

○校内アンケートにおいて、「健康的な生活を心がけている」と肯定的に回答する児童を 90%以上にする。(R7：89%)

### **【学びを支える教育環境の充実】**

○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 65%以上にする。(R7：61%)

○「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。(R7 2 月:0%)

### 3 本年度の自己評価結果の総括

--

## 大阪市立橋小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <b>88%</b>以上にする。(R7:85%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <b>85%</b>以上にする。(R7:81%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができているですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。(R7:なし)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○みんなで楽しく学校生活を送るために、学校のきまりを理解し、守ることができるよう、計画的に取り組む。そして、ふり返る機会を設ける。</p> <p>○いじめを許さない心を育てるために、児童会や各委員会によりいじめ(いのち)について考える日等の集会活動に取り組む。</p>	
<p>指標</p> <p>○各学級に「学校のきまり」を掲示し、学期ごとに振り返りや確認を行う。</p> <p>○「生活ふりかえりカード」の取り組みを年間3回行う。</p> <p>○いじめに関する代表委員会を中心とした集会活動に年1回以上、委員会活動による発表集会を年1回以上取り組む。</p> <p>○外部関係機関とも連携しながら、外部講師による授業や学習の機会を学校全体として、年間3回以上設ける。</p>	
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】</p> <p>○すべての教育活動を通じて、「自分も人も大切にすること」を意識し、子どもの自尊感情を高め、認め合える関係を築く。</p>	
<p>指標</p> <p>○校内の児童アンケートにおいて「自分には、よいところがあると思う」の子どもの肯定的な回答の割合を <b>85%</b>以上にする。(R7:81%)</p> <p>○校内の児童アンケートにおいて「自分も人も大切にしている」の子どもの肯定的な回答の割合を 95%以上にする。(R7「自分」:91%/「人」:99%)</p> <p>○児童どうしの「仲間づくり」につながる活動を、学級・学年内及び異学年間において各学期1回以上、取り組む。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

## 大阪市立橋小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。(R7: 79%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。(R7: 89%)</p> <p>○校内アンケートにおいて、「健康的な生活を心がけている」と肯定的に回答する児童を 90%以上にする。(R7: 89%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>○毎日の授業や教育活動で、児童どうしが意見を交流する機会を設定し、自分の考えを深め、新たな考え方に気づくことができるように指導・支援を行う。(ペア学習、グループ学習など)</p> <p>○授業のまとめにおいて、「ふり返し」を行い、次の授業に活かす。</p> <p>○児童一人一人の学力や実態に応じたデジタルドリル(navima 等)のさらなる活用を図り、個別学習の充実を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>○校内の児童アンケートにおいて「友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の児童の肯定的な回答の割合を 80%以上にする。(R7: 78%)</p> <p>○校内の児童アンケートで「家庭学習で学習者用端末を週 2 回以上使用している」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 65%以上にする。(R7: なし)</p> <p>○校内の児童アンケートにおいて「授業はわかりやすい」の児童の最も肯定的な回答の割合を 60%以上にする。(R7: 58%)</p>	
<p>取組内容② <b>【5 健やかな体の育成】</b></p> <p>○体育の授業や体育的行事や取組等で、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わえるように工夫を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>○校内の児童アンケートにおいて「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の児童の肯定的な回答の割合を 80%以上にする。(R7: なし)</p>	

取組内容③【5 健やかな体の育成】

○バランスの良い食事を心がけて、好き嫌いなく食べようとする意識を高めるように各学級での給食指導や栄養指導を充実する。

指標

○「健康生活がんばりカード」において「(給食を)自分で決めた量を残さず食べている」の児童の肯定的な回答の割合を **91%**以上にする。

(R7 : ④81%③9.8%②3.7%①2.5%)

○栄養教諭による栄養指導を各学級2回/年以上行う。

○「給食週間」中に給食委員会を中心にICTを活用した発表を行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

## 大阪市立橋小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 65%以上にする。(R7: 61%)</p> <p>○「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。(R7 2 月: 0%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【6 教育DXの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の授業や諸活動において、プログラミング学習をはじめ、デジタル教材の活用、調べ学習、まとめ(発表)等の学習活動において学習者用端末を活用する。併せて、個人学習(デジタルドリル等)を週 1 回以上実施する。</li> <li>・各学年の児童の実態に応じて年間指導計画に位置づけ、プログラミング学習に年に 1 回以上取り組む。</li> <li>・情報モラル教育を各学年において、年間 1 回以上実施する。</li> </ul>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の児童アンケートで「学校活動の中で学習者用端末を週 3 回以上使用している」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 75%以上にする。(R7: なし)</li> </ul>	
<p><b>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールサポートスタッフを有効に活用できるよう業務依頼を計画的に行い、職員の負担を減らす。</li> <li>・「教員としての資質の向上に関する指標」に基づいた、キャリアステージに対応した研修を体系的・計画的に実施する。</li> <li>・教員の長時間勤務の解消を通じ、教員が子どもたちの前で健康で生き生きと働くことができる環境の実現を目指す。</li> </ul>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的な取組や教職員の必要性に応じて全体研修、メンター研修を実施する。 (年間全体研修 9 回、メンター研修 5 回) ※変えず</li> <li>・会議内容の精選や焦点化を図ったり、会議の終了時刻を明示したりすることで、各自が計画的に進めることができるようにする。</li> <li>・学年集団による学年打ち合わせを週に 1 回設け、機能化を図る。</li> <li>・「ゆとりの日」を月 1 回以上設定し、退勤時刻を 17 時 30 分にする。学校閉庁日については、夏季休業日期間中は 4 日以上、冬季休業日期間中は 3 日以上を継続する。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式例3)

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立橘小学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--